

埼玉支部通信 Vol.7

すっかり秋めいた今日このごろ、選手も充実したトレーニングがこなせる季節となりました。今後ますます白熱したレースが展開されますので、どうぞご期待ください！！

さて、今回の支部通信は10月6日に前橋ドームで開催された、関東地区プロ大会の様をお届けしたいと思います。

この大会は、競輪選手が競輪以外の自転車競技種目（国際ルール）で勝負するもので、ここで勝てば全プロ大会、そして寛仁親王杯出場という権利を得ることもできます。

競輪選手の自転車競技における近況ですが、バンクの形状、周長等異なる点が多々あるのと、競輪の練習ではなく各競技専門のトレーニングを行う必要があるため、世界での戦いは苦戦が続いています。そんな状況だからこそ、5年後の東京オリンピックにおいて良い結果を残すため計画的な育成が必要となります。

その育成の一環でもある関東地区プロ大会の様子を、そして、練習に励み全力で競走に臨んでいる選手達が、こんな活動もしているという一面をご紹介します。

自転車競技の特徴

競輪とは違う自転車・勝負服・ヘルメット等を使用します。自転車はカーボンフレームです。外国製の有名メーカーのフレームは、1台100万円ほどになるものもあります。車輪はデスクホイールを使用します。これはガールズケイリンなどでもおなじみですね♪ 円盤のような形状で踏み出しこそ重く感じますが、スピードが乗ってくるとより加速していく感じ、そして垂れにくいという特徴があります。ただ風に弱く、横風が吹くと大変なことに……。これも1枚30万円前後とかなり高価なものになります。

勝負服は、ワンピースといって上下が繋がった身体にピッタリした素材のものを着用し、ヘルメットは流線型のものを被ります。団体パシュート埼玉チームは、揃いのかわいい勝負服を作って参加しました。写真があるので是非見てください！！

こんな競輪との違いも見どころのひとつですね。

関東地区フロ大会の結果

| | | |
|----------|-------------------------|-------------------|
| スプリント | 5位 岸澤賢太 | 6位 馬場和広 |
| 4000m個人 | 3位 小沼良 | |
| 4000m団体 | 2位 [井上善裕・白岩大助・細沼健治・小沼良] | |
| 1000mTT | 5位 池田勇人 | 9位 伊藤慶太郎 |
| エリミネーション | 6位 武藤龍生 | 10位 吉田裕全 11位 武藤篤弘 |
| チームスプリント | 失格 [丸山直樹・野中祐志・高橋泰裕] | |
| ケイリン | 決勝2位 山田義彦 | 決勝7位 武藤龍生 |
| | 予選6位 宿口陽一 | 予選7位 平原康多 |
| | 予選8位 尾崎剛 | 予選8位 中田健太 |
| ガールズケイリン | 3位 高橋 梨香 | |

埼玉チーム総合成績 4位

総合成績は少し残念な結果となってしまいましたが、次回順位を上げられるよう、チーム一丸となって頑張ります！！

関東地区フロ大会の様様

では実際の大会の様様をご覧ください。



埼玉チーム監督である**飯田威文選手** バッハプラザの取材中の様子です。



談笑中の**太田支部長**。今回は大会委員長として競技全体を仕切っています。
頼もしい！！



ケイリン予選の作戦会議中??
なんと埼玉支部選手が予選1組に5名乗ることに・・・
これは前日の支部長による抽選の結果です。アンラッキーとしかいいようがありません・・・
写真は**平原康多選手、山田義彦選手、尾崎剛選手、宿口陽一選手、武藤龍生選手**



ケイリン予選のスタート前

車番とスタート並び位置が違います。いつもの競輪と異なり、車番は前日の抽選で決まり、スタート位置はスタート前の抽選で決まります。

スタート後に誘導員を誰も追わない時は、最内の選手、写真の場合であれば1番車が追うというルールになっています。



スプリント予選前の自転車調整中

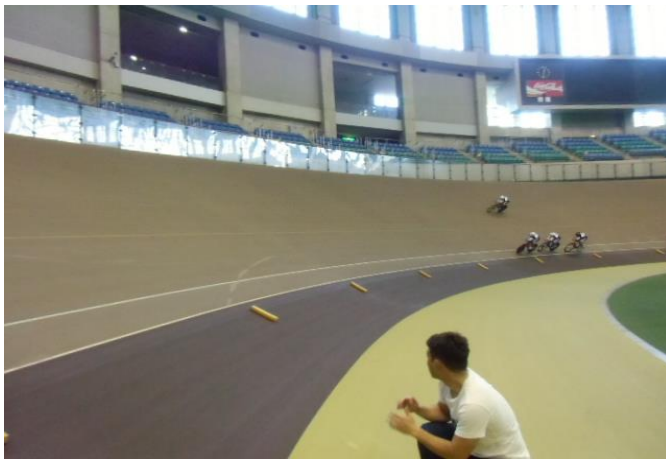
馬場和広選手

調整しながら精神統一中か・・・



チームパシュートのスタート前（写真上）とレース中（写真中）の様子です。

4人1組の競技で、先頭を交代しながら4千メートルを走ります。3番手の選手がゴールした時点で終了となります。



今回は直前に金子哲大選手が負傷したため、**小沼良選手**が急遽個人パシュート（写真下）と兼任参加となりました。



スタート直前の**小沼良選手**。
最年長ながら長距離種目2種目に参加。すごい頑張りです。

なお、この発走機はタイムカウンターと連動していて、自転車をセットしてから50秒よりカウントダウンが始まります。

選手はその間にバンドを絞め、精神統一するなど、集中力を高めスタートを待ちます。カウント0でロックが外れスタートとなります。



チームスプリントのスタート直前。

アテネオリンピックで日本チームが銀メダルを獲得した種目でもあります。1周ごとに先頭がはずれ、最後の一人がゴールしたタイムを競います。

残念ながら今回は、交代ゾーンより前で交代したと判定され失格となりました。

第1走者の**高橋泰裕選手**、素晴らしいスタートを見せていました。

第2走者は**丸山直樹選手**、アンカーは**野中祐志選手**でした。



エリミネーションのレース風景。

各周回のゴール到達時の最後方選手から脱落していき、2名が残った時点でスプリントレースを行う競技です。各自のハンドル捌きや展開の読みが重要です。



エリミネーション前のワンショット

写真上段は、**武藤龍生選手**と**馬場和広選手**

写真下段は、**またもや武藤龍生選手**と**吉田裕全選手**



最後にガールズケイリン出走前の様子を一枚。
最後を飾るのは、3番車の我らが**高橋梨香選手**。
他の写真より大きく掲載しました（笑）

それでは次回 Vol. 8 で会いましょう！！